

事業名

冊子「正親風土記」の作製と
その講演と関係地ウオークの開催

実施団体

「正親風土記」作製プロジェクト

正親学区の地は、平安時代には平安宮(大内裏)があり、豊臣秀吉の時代になると秀吉の邸宅の聚楽第が建っていました。明治以降、地場産業である西陣織の活況とともに、西陣京極界限には、十数軒の座館(映画館など)がありました。戦時中は、西陣空襲がありました。古い町並みの中には町家も残っています。

それら古くから開け発展してきた正親学区の風土や文化等を冊子「正親風土記」としてまとめました。

この冊子を活用し、正親小学校の子どもたちに授業(6年生)の中で、興味のある項目について、わかりやすく説明しました。

そして、風土記に掲載されている地域を見て回りました。保護者の方も、一緒に勉強しました。 令和5年(2023)10月実施

正親風土記



正親小学校の子どもたちに配布



正親風土記を使用し、学習



西陣空襲について説明(辰巳公園)



路地の中にある町家について説明

地域コミュニティが薄れ、町内会離れが進む現在、正親学区においても、そのような状況が危惧されます。子どもたちに、地域が培ってきた風土や文化、歴史を学び、正親学区に愛着ってもらい、数年後には、地域の活動に積極的に参加する人材を育てなければなりません。